

(表紙)

都道府県名	鳥取県
野菜指定産地名	とっとりせいぶ 鳥取西部
指定野菜の種別	春ねぎ
指定年月日	平成9年6月4日

生産出荷近代化計画書

計画樹立年月日

令和4年3月1日

野菜指定産地の区域

米子市
日吉津村
南部町

境港市
大山町
伯耆町

関係農協等名

鳥取西部農業協同組合
全国農業協同組合連合会鳥取県本部

目 次

第1 区域の概況	1
第2 指定野菜の生産及び出荷の近代化に関する基本的構想	1
第3 指定野菜の生産に関する事項	
1. 作付面積及び生産数量	2
2. 収穫面積規模別農家数	3
3. 耕種状況等	4
(1) 主要輪作体系及び耕種時期	4
(2) 栽培技術等の改善	4
(3) 農業用廃プラスチックの処理方針	4
4. 労働生産性の向上と労働力確保	5
(1) 10a当たり総労働時間	5
(2) 年齢別農業従事者数	5
(3) 労働力確保、生産省力化のための具体的手段の現状と課題	5
第4 指定野菜の出荷に関する事項	6
1. 流通先別出荷数量	6
2. 出荷機関別出荷数量	7
3. 出荷規格	8
第5 指定野菜の近代化に関する事業計画	
1. 現状	9
2. 計画	11

第1 区域の概況

1 自然的条件

指定産地の範囲は、県の西側に位置している。米子市、境港市、西伯郡にあたる2市4町村にまたがる区域である。

米子市の平均気温は16.1℃、年間降水量は1,862.5mm、年間日照時間は1813.9時間で、気候は日本海型である(令和2年データ)。春から秋は比較的温暖であるが、冬は日照時間が短く、北西の季節風が吹く。平坦地は冬期降雪があるものの、根雪になることは少ない。中山間地は夏は冷涼であるが、冬は降雪があり寒さが厳しい。

地形は大きく2地帯に大別される。第1は米子市から境港市にかけて伸びる東西4km、南北20kmの低平な砂丘地の半島部で、白ねぎの主産地となっている。第2は西伯郡で、中国山地の主峰大山の裾野から北に向かって緩やかな傾斜地が広がっており、なだらかな丘陵地に畑があり、日本海沿岸には水田地帯が広がっている。

2 社会的条件

主産地である米子市は、県都鳥取市までJR山陰本線、国道9号線を利用して約1時間30分で結ばれている。また、地域内の交通は、米子市から北の境港市まで車で30分、東の大山町まで約30分で結ばれている。

地域の経済は、京阪神、山陽方面と密接に関わって発展してきており、秋冬ねぎ等の農産物も京阪神中心の出荷となっている。JRで大阪市まで約3時間、岡山市まで約2時間で結ばれており、高速道路の開通により大阪市まで3時間20分で結ばれるようになった。

米子市の産業別就業人口は、平成27年度の国勢調査によると、第一次産業3.4%、第二次産業19.9%、第3次産業72.5%であり、商業を中心とした地方中核都市として、県西部及び島根県東部を商圏としている。また、境港市は日本有数の漁港として、水産加工など関連産業が盛んである。米子市近隣町村では都市部への通勤者が多いが、西伯郡東部は農業が主要産業になっている。

3 農業の動向

農業は県西部の主要産業で、日本海沿岸の水田、砂畑から大山山麓の畑地まで、地域の特徴を生かして多様な農業が展開されている。農家戸数は減少を続けている。主産地である米子市の販売農家数のうち主業経営体数は10.9%であるが、副業的経営対数が全体の74.9%を占めている(2020年農林業センサス)

第2 指定野菜の生産及び出荷の近代化に関する基本的構想

(1) 栽培管理の徹底

- ア 地域別(弓浜(乾燥地・湿潤地)、水田、汗入地区)・作型別(春・夏・秋冬どり)栽培指針の作成と普及
- イ 堆肥の投入及び、緑肥による輪作
- ウ 輪作地としての遊休農地利用促進
- エ 土壌分析を基にした施肥の改善

(2) 排水不良による減収防止

- 弓浜地帯及び転作田での排水不良地の排水対策

(3) 機械化一貫体系による規模拡大

- ア 育苗・定植・収穫・選果の機械化一貫体系の確立
- イ セル成形苗の栽培条件別(地域・作型)育苗技術向上・収穫機の改良

(4) 消費者・実需者のニーズにあった流通・販売

- ア 新たな流通・販売方法の開拓
- イ 地産地消の促進
- ウ 安全・安心な品物の提供

第3 指定野菜の生産に関する事項

当産地は、白ねぎの周年出荷を行う西日本有数の産地である。米子市、境港市の弓浜砂丘畑地帯では、専業、兼業を問わず、経営の柱として作付され、西伯郡では転作作物として栽培面積が増加してきた。近年は、生産者の高齢化により、作付面積が減少している。今後は、担い手を育成、確保しその担い手を中心に作付面積及び生産量の拡大を図る。

1. 作付面積及び生産数量

(単位:ha、トン、kg、%)

市町村名	項目		作付面積	生産数量	10a当たり生産数量
	年次				
米子市	5年前(平成26年)		62	1,380	2,226
	現在(令和元年)				
	A		40	1,060	2,650
	目標(令和6年)				
	B		38	1,000	2,632
	対比B/A		95	94	99
境港市	5年前(平成26年)		14	460	3,286
	現在(令和元年)				
	A		19	520	2,737
	目標(令和6年)				
	B		20	550	2,750
	対比B/A		105	106	100
日吉津村	5年前(平成26年)		1	19	1,900
	現在(令和元年)				
	A		1	16	1,600
	目標(令和6年)				
	B		1	15	1,875
	対比B/A		80	94	117
大山町	5年前(平成26年)		8	165	2,063
	現在(令和元年)				
	A		9	175	1,944
	目標(令和6年)				
	B		8	170	2,125
	対比B/A		89	97	109
南部町	5年前(平成26年)		1	21	2,100
	現在(令和元年)				
	A		3	49	1,633
	目標(令和6年)				
	B		3	45	1,800
	対比B/A		83	92	110
伯耆町	5年前(平成26年)		2	25	1,250
	現在(令和元年)				
	A		3	51	1,700
	目標(令和6年)				
	B		3	46	1,840
	対比B/A		83	90	108
計	5年前(平成26年)		88	2,070	2,352
	現在(令和元年)				
	A		75	1,871	2,495
	目標(令和6年)				
	B		72	1,826	2,543
	対比B/A		96	98	102

2. 収穫面積規模別農家数

(単位:戸、%)

市町村名	項目 年次	収穫 農家数	収穫面積規模別												
			5a 未満	5a~ 10a	10a~ 20a	20a~ 30a	30a~ 50a	50a~ 1ha	1ha~ 1.5ha	1.5ha 2ha	2ha~ 5ha	5ha~ 6ha	6ha~ 8ha	8ha~ 10ha	10ha 以上
米子市	現在(令和元年) A	171	31	49	52	26	12	1	0	0	0	0	0	0	0
	目標(令和6年) B	171	31	49	52	26	12	1	0	0	0	0	0	0	0
	対比B/A	100	100	100	100	100	100	100	-	-	-	-	-	-	-
境港市	現在(令和元年) A	74	12	10	24	12	10	2	0	3	1	0	0	0	0
	目標(令和6年) B	74	12	10	24	12	10	2	0	3	1	0	0	0	0
	対比B/A	100	100	100	100	100	100	100	-	100	100	-	-	-	-
日吉津村	現在(令和元年) A	5	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	目標(令和6年) B	5	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	対比B/A	100	100	100	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大山町	現在(令和元年) A	40	3	14	10	5	6	1	1	0	0	0	0	0	0
	目標(令和6年) B	40	3	14	10	5	6	1	1	0	0	0	0	0	0
	対比B/A	100	100	100	100	100	100	100	100	-	-	-	-	-	-
南部町	現在(令和元年) A	6	0	1	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	目標(令和6年) B	6	0	1	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	対比B/A	100	-	100	100	100	-	100	-	-	-	-	-	-	-
伯耆町	現在(令和元年) A	13	0	4	6	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	目標(令和6年) B	13	0	4	6	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	対比B/A	100	-	100	100	100	-	100	-	-	-	-	-	-	-
計	現在(令和元年) A	309	49	79	95	47	28	6	1	3	1	0	0	0	0
	目標(令和6年) B	309	49	79	95	47	28	6	1	3	1	0	0	0	0
	対比B/A	100	100	100	100	100	100	100	-	100	100	-	-	-	-
	比率	現在	100	16	26	31	15	9	2	0	1	0	0	0	0
目標	100	16	26	31	15	9	2	0	1	0	0	0	0	0	0

3. 耕種状況等

(1) 主要輪作体系及び耕種時期

年次	タイプ	耕種時期																			比率	指定野菜の主要品種名
		1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7		
現在 (令和元年)	春扇 龍ひかり 羽緑 龍まさり	(春ねぎ) ○○…△…△…□…□																			%	春扇、龍ひかり 夏緑、龍まさり
	坊主しらず	(春ねぎ) ◇…◇…△…△…□×…×□																				
	目標 (令和6年)	春扇 龍ひかり 羽緑 龍まさり	(春ねぎ) ○○…△…△…□…□																			%
坊主しらず	(春ねぎ) ◇…◇…△…△…□×…×□																			20	向小金、中海 流山、晩中太	

(注) 耕種時期は記入例により記入する。

ただし、○…○(は種期)、◇…◇(仮植え)、△…△(定植期)、□…□(収穫期)、×…×(収穫最盛期)とし、指定野菜名は括弧書きとする。

指定野菜名は括弧書きとする。

(2) 栽培技術等の改善

近年の白ねぎ収量減の原因として、周年栽培による連作障害があげられる。連作障害の防止、被害の軽減を図るため、輪作、土壌消毒、緑肥の導入を行う。また、高収量品種の導入及び栽培基準、防除指針の作成、指導等栽培管理の徹底を行い単収の増加を目指す。

(3) 農業用廃プラスチックの処理方針

ア 現状と課題

被覆資材として使用した塩化ビニールフィルム、ポリエチレンフィルム、プラスチックフィルム等は、次年度マルチとして再利用するものと、個人で処分するもの、業者により処理するものと大別される。

現在、各農業組合に農業用廃プラスチック適正処理推進本部を設置し、全量処理業者による適正処理を推進している。

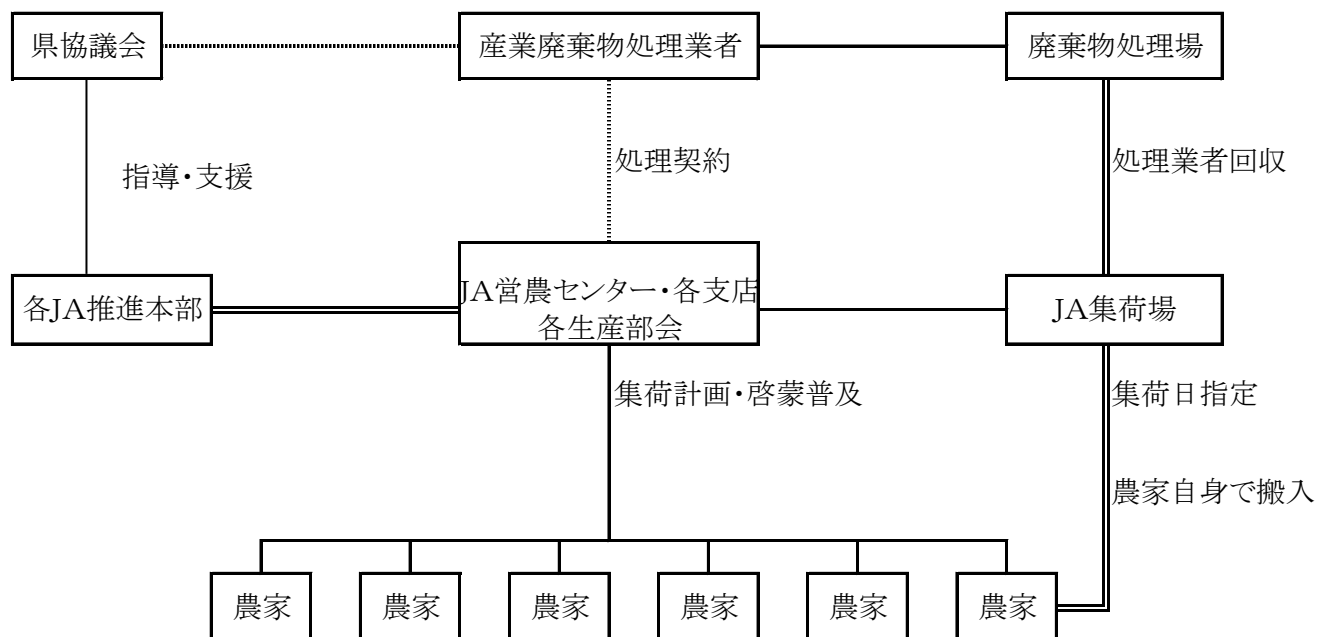
指

イ 今後の方針

廃プラスチックは、産業廃棄物として農業者が責任を持って処理すべきものとして位置付けられており、行政機関、農業団体、製造、流通業者が一体となって回収体制を確立し、適正処理を進める。

今後、各農業組合推進本部を中心とした組織的取組とともに生産部会を通じて農業者への啓発を図り、適正処理を実施していくものとする。

【農業用廃プラスチックの処理体制図】



4. 労働生産性の向上と労働力確保

(1) 10a当たり総労働時間

(単位:時間、%)

項目	10a当たり 総労働時間	10a当たり総労働時間の内訳								
		育苗	耕起 整地 基肥	定植 (は種)	中耕 ・ 除草	追肥	栽培 管理	防除	収穫 ・ 調製	その他
年次 現在 (令和元 年) A	508.9	30	12	6	14	7.5	16	22	363.4	38
目標 (令和6年) B	508.9	30	12	6	14	7.5	16	22	363.4	38
対比B/A	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

(2) 年齢別農業従事者数

(単位:人、%)

市町村名	年次	項目	合計					男					女												
			計	16 〜 29 歳	30 〜 49 歳	50 〜 59 歳	60 〜 64 歳	65 歳 以上	計	16 〜 29 歳	30 〜 49 歳	50 〜 59 歳	60 〜 64 歳	65 歳 以上	計	16 〜 29 歳	30 〜 49 歳	50 〜 59 歳	60 〜 64 歳	65 歳 以上					
			現在(令和元年) A	目標(令和6年) B	対比B/A	現在(令和元年) A	目標(令和6年) B	対比B/A	現在(令和元年) A	目標(令和6年) B	対比B/A	現在(令和元年) A	目標(令和6年) B	対比B/A	現在(令和元年) A	目標(令和6年) B	対比B/A	現在(令和元年) A	目標(令和6年) B	対比B/A	現在(令和元年) A	目標(令和6年) B	対比B/A		
計	比率	現在	100												現在	100									
		目標	100																						

(3) 労働力確保、生産省力化のための具体的手段の現状と課題

生産コストを低減するため、収穫機や共同選果場の利用により労働時間を削減しているものの、多くの農家が従来からの手植えやチェーンポット育苗による簡易移植機による定植作業に多くの時間を費やしている。そこで、平成16年度から移植機、播種機、セルトレイ、育苗ハウスを導入しているところである。今後も引き続きセル育苗を推進し、年次的に育苗用ハウスの整備を進めていきたい。

第4 指定野菜の出荷に関する事項

仕向先別出荷数量は、需要の動向に即した計画的な生産出荷を行うこととし、現在、近畿地域を中心とした出荷を行っている。令和元年度の出荷を仕向け先別に見ると、65%が近畿で流通している。次いで中国地域へ14%、東海地域13%、四国地域8%となっている。

1. 流通先別出荷数量

(単位:トン)

市町村名	流通先 年次	生食用		加工用		合計	主な出荷先名
		卸売市場向け	卸売市場以外向け	卸売市場向け	卸売市場以外向け		
米子市	5年前(平成26年)	990	270			1,260	東海・近畿・中国・四国
	現在(令和元年)	724	286			1,010	〃
	目標(令和6年)	700	270			970	〃
境港市	5年前(平成26年)	442	5			447	東海・近畿・中国・四国
	現在(令和元年)	500	5			505	〃
	目標(令和6年)	510	5			515	〃
日吉津村	5年前(平成26年)	16	2			18	近畿・中国
	現在(令和元年)	15	0			15	〃
	目標(令和6年)	15	0			15	〃
大山町	5年前(平成26年)	144	12			156	近畿・中国
	現在(令和元年)	117	49			166	〃
	目標(令和6年)	120	30			150	〃
南部町	5年前(平成26年)	14	4			18	近畿・中国
	現在(令和元年)	28	14			42	〃
	目標(令和6年)	26	12			38	〃
伯耆町	5年前(平成26年)	13	6			19	近畿・中国
	現在(令和元年)	31	16			47	〃
	目標(令和6年)	28	15			43	〃
計	5年前(平成26年)	1,619	299	0	0	1,918	
	現在(令和元年)	1,415	370	0	0	1,785	
	目標(令和6年)	1,399	332	0	0	1,731	

2. 出荷機関別出荷数量

(単位:トン)

市町村名	項目 年次	農協連合会	農協	任意組合	商協	商人	大規模生産者 ()	その他	計
米子市	5年前(平成26年)	990					()	270	1,260
	現在(令和元年)	724					()	286	1,010
	目標(令和6年)	700					()	270	970
境港市	5年前(平成26年)	442					()	5	447
	現在(令和元年)	500					()	5	505
	目標(令和6年)	510					()	5	515
日吉津村	5年前(平成26年)	16					()	2	18
	現在(令和元年)	15					()	0	15
	目標(令和6年)	15					()	0	15
大山町	5年前(平成26年)	144					()	12	156
	現在(令和元年)	117					()	49	166
	目標(令和6年)	120					()	30	150
南部町	5年前(平成26年)	14					()	4	18
	現在(令和元年)	28					()	14	42
	目標(令和6年)	26					()	12	38
伯耆町	5年前(平成26年)	13					()	6	19
	現在(令和元年)	31					()	16	47
	目標(令和6年)	28					()	15	43
計	5年前(平成26年)	1,619	0	0	0	0	0	299	1,918
	現在(令和元年)	1,415	0	0	0	0	0	370	1,785
	目標(令和6年)	1,399	0	0	0	0	0	332	1,731

(注)1 出荷数量とは、野菜指定産地の区域内で生産され、その区域から販売するために市場等へ出された当該指定野菜の数量をいう。以下同じ。

2 大規模生産者の欄には共販に含まれない出荷数量を記入するとともに、同欄の()に、共販に含まれる出荷数量を外数として記入すること。

3. 出荷規格

出荷規格は、全国農業協同組合連合会鳥取県本部が作成した規格を使用している。今後必要に応じて規格の変更、簡素化を検討していく。

春ねぎ 出荷規格表

令和3年度

JA全農とっとり

等級	階級 (標識)	葉の長さ cm以上	小束本数	葉切全長 及び太さ	摘	要
秀	2L 緑	27 cm	2本	58cm	◎量目 正味重量 3.15kg以上 ◎小束 1箱10束入り 小束は太さをそろえる 小束は結束テープで結束する 2枚葉だけで結束しない ◎調整 1. 砂、汚れはきれいにふきとり、病虫害葉、枯葉は取り除く 2. 根は完全に切る (ただし、深切りしないこと) 3. 水切りは充分に行なう 4. 箱詰めは出荷当Eの順にする ◎選別基準	(結束テープの位置)  (葉の枚数の基準)  (棒ねぎ基準)  (丸みの基準)  (秀品曲がり基準)  ◎箱詰 「M」は5~6本束、7~8本束を別々に箱詰める 「A」は2本束、3本束、4本束別々に箱詰める ◎混合 ※最後に残った束を混合して1箱とする場合 2L、L、L4のいずれか又は全部が混合となる場合は「A」とする ただし、上段の中にMが混入する場合は「優」とする ◎太さ ・太さは1.0cm以上とする ・「3L」の根本10cm上部位径は2.5cm以上とする
	L 紫		3本			
	L4 若草		4本			
	M 赤	25 cm	5~8本			
	A 青		2~4本			
	3L 黄		バラ14本			
優・良	クラフト (茶色)			根本10cm上部位径 2.5cm以上		

第5 指定野菜の近代化に関する事業計画

定植機・収穫機の導入による省力栽培の推進と共同選果施設の効率利用による調整出荷作業時間の大幅な削減による労働費の削減、さらに余剰時間は栽培管理の徹底を図り生産性の向上と生産者個々の経営規模拡大につなげ経営の安定化を図る。

1. 現 状

導入事業名	市町村名	事業実施主体名	受益範囲		事業の内容	工種又は施設区分	構造・規格能力等	事業量	導入年度	備考
			戸数	面積又は処理量						
効用促進農業構造改善事業	米子市	鳥取西部農業協同組合	戸 900	ha(t) 426	集出荷予冷施設	建物1棟 真空予冷施設	鉄骨平屋 13,000c/日	2,468.9 2㎡	平成3年	
						保冷施設	17,500c/日	5基	平成6年	
農村地域農業構造改善事業	境港市	鳥取西部農業協同組合	405	2,250	集出荷予冷施設	建物1棟 真空予冷施設	鉄骨平屋	600㎡	平成4年	
農業生産体制強化総合推進対策事業	境港市	鳥取西部農業協同組合	405	354	集出荷保冷施設	建物1棟 保冷施設	鉄骨平屋	54㎡	平成8年	
地域連携確立農業構造改善事業	米子市 境港市	鳥取西部農業協同組合	264	1,710	集出荷貯蔵施設	白ねぎ選果施設 残さ処理施設	鉄骨平屋	1,600㎡ 150㎡	平成11・12年	
農業生産総合対策条件整備事業	米子市	鳥取西部農業協同組合	76	50	白ねぎ収穫機	白ねぎ収穫機小橋HG100		10台	平成12年	
農業生産総合対策条件整備事業	大山町 (旧中山町)	鳥取西部農業協同組合	56	483	集出荷予冷施設	建物1棟 真空予冷施設 保冷施設 コンピューターシステム一式	鉄骨平屋	542㎡ 真空予冷IIチャンパー3パレット 保冷库105坪	平成12年	

輸入急増農産物特別対策事業	米子市	鳥取西部農業協同組合	86	37.5	全自動定植機			5台	平成16年	
チャレンジプラン	大山町	鳥取西部農協	128	12(t)	集出荷選別作業施設プラント	白ねぎ選果施設プラント	鉄骨平屋	根葉切り機、皮剥ぎ機、結束機	平成21年	
弓浜農業未来づくりプロジェクト事業	境港市	鳥取西部農業協同組合	84	1.2t/日	集出荷選別作業施設プラント	白ねぎ選果施設	鉄骨平屋	根葉切り機、皮剥ぎ機、結束機	平成25年	

(注)

- 1 現在、指定野菜の生産出荷等に関係している施設等で、補助、融資事業により導入したもののについて記入する。
- 2 受益範囲の欄については、区域の当該指定野菜の受益戸数及び受益面積(集出荷貯蔵施設については処理量)を記入する。
 なお、指定野菜がばれいしょの場合は、でん粉原料用ばれいしょも含めたばれいしょの総計を括弧書きで上段に記入する(以下同じ)。
- 3 導入事業名の欄には、これら施設等を導入した補助、融資等の事業名を記入する。

2. 計画

助成区分	市町村名	事業実施主体名 (見込)	受益範囲		事業の内容	工種 又は施設区分	事業量	導入年度 (見込)	備考
			戸数	面積は 又は 処理量					
補助事業			戸	ha(t)					
農業改良資金									
融資事業等									

(注) 当該指定野菜の生産出荷等の近代化のために、本計画の目標年次まで実施される予定の補助、融資事業について記入する。